

令和3年1月
日本弁理士会

「令和2年度 技術・ブランド・知的財産ビジネスプランコンテスト」
受賞者の決定について

日本弁理士会では、今年度より「技術・ブランド・知的財産ビジネスプランコンテスト」を開催しております。

このコンテストは、知的財産等を用いた新たな萌芽的ビジネスプランを実施している又は実施を予定しているスタートアップ、中小企業者等を当会が発掘・表彰し、表彰したビジネスプランに対して、弁理士が知財コンサルティング等を行い、知財経営の促進を図ることを目的としたものです。

このたび、下記のとおり受賞者を決定しましたので、お知らせいたします。

記

(1) 受賞者及びその受賞理由

■日本弁理士会会長賞（1位）

- ・応募者名：株式会社オシンテック（兵庫県神戸市）
- ・ビジネスプラン名：世界の法制プロセスを可視化する Rule Watcher
- ・受賞理由：ビジネスに必要な各国の「ルール」に着目し、それをビジネス化する視点が斬新である。ビジネスモデルにおける「顧客」、ビジネスの前提となる「コミュニティ」の定義も明確であり、将来性が十分に期待できる。また、既に「Rule Watcher」の商標登録を出願済みであり、また、今後「情報解析エンジン」について特許取得を検討中であることから、知的財産を活用し、国際的にビジネスを展開しようとしている点を評価した。

■日本弁理士会特別賞（2位）

- ・応募者名：株式会社ウェルナス（東京都千代田区）
- ・ビジネスプラン名：機能性野菜ナスで挑戦する健康実現
- ・受賞理由：自らの研究成果であるナスの機能に基づいたビジネスを開拓しており、知的財産によるビジネス保護も十分に行っている。単なるサプリメントの販売ではなく、AI食サービスと関連させたビジネスモデルも評価できる。疾病予防の領域は国際的にマーケットも大きく、今後の成長が期待できる。

■日本弁理士会奨励賞（3位）

- ・応募者名：石川真理花（埼玉県越谷市）
- ・ビジネスプラン名：ベビーのおしゃれな手形アートがいつでも気軽に作れる！
出産記念グッズの新ジャンル「うまれた手」
- ・受賞理由：従来あった手形ビジネスにデザインアートを加えることで、新たなビジネスモデルを展開しており、マーケットの着眼点もよい。スマート写真を送信するだけで商品ができあがる手軽さが魅力である。商標登録出願を行い、知的財産を用いたブランディングに注力しており、今後の成長が期待できる。

（2）応募件数等について

- ・応募件数：40件
- ・一次審査（書類審査）通過：9件
- ・二次審査（ピッチ審査）通過：3件

（3）本コンテストに関する詳細は、以下のHPをご覧ください。

◆日本弁理士会 HP「技術・ブランド・知的財産ビジネスプランコンテスト」

https://www.jpaa.or.jp/about-us/attached_institution/management-2/bpc

（4）表彰式について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、表彰式はオンライン配信にて実施します。受賞関係者の方に限らず、どなたでも視聴していただけます。

当日のプログラムや参加方法等の詳細につきましては、2月上旬頃に日本弁理士会 HP でご案内する予定です。

＜オンライン表彰式＞

- ・日時：令和3年2月26日（金）15：00～16：45
- ・開催形式：YouTube ライブによるオンライン配信

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

日本弁理士会事務局 経営・支援室 久保田
電話：03-3519-2709 E-mail：bpca@jpaa.or.jp